

# 大豆栽培情報（6月号）

令和8年6月5日  
福岡大城農業協同組合  
南筑後・久留米普及指導センター

大豆の収量向上には「適期播種」が重要です。梅雨の合間に播種することを意識して播種準備は早めに取り掛かってください。耕起後に降雨にあうと、しばらくの間トラクタ作業ができなくなります。事前の耕起は行わず、「荒起こしと播種を組み作業」とするか、「部分浅耕一工程播種」をしましょう。

## 1 ほ場の準備

### ○雑草対策

- ・播種前に発生している雑草は、非選択性除草剤で、しっかり枯らします。

### ○土づくり

- ・適正土壌pH6.0~6.5となるよう、土壌改良資材を投入します。（部分浅耕播種の場合は浅耕部分でアルカリ障害が発生する可能性があるため、大豆の収穫後に施用）
- ・地力低下の防止には、有機物の投入が必要です。麦わらは全量すき込みましょう。

### ○排水対策

- ・麦作時に施工した弾丸暗渠は大豆作でもそのまま活用できるため、大豆播種前の新たな施工作业は不要です（過度の排水対策は、逆に夏季の乾燥害を助長します）。
- ・麦作時の周囲溝を排水溝に繋ぎ、表面排水を徹底しましょう。

### ○施肥

- ・基肥としてPK化成40号を30kg/10a施用します。

## 2 播種

### ○種子消毒

大雨後の出芽不良や萎凋・立枯れの原因となる茎疫病対策として、排水不良田や梅雨の合間の播種には、**クルーザーMAXX**が効果的です。

薬剤名	処理量/種子 10kg	備考
<b>クルーザーMAXX</b>	80ml	<b>茎疫病、ハト害、紫斑病、ネキリムシ類</b>
キヒゲンR-2フロアブル	200ml	ハト害、紫斑病

### ○播種時期・播種密度・播種量

播種時期	7月5~20日（適期播き）	7月下旬（遅播き）
条間	70cm	
株間	30~20cm	15~10cm
播種量	3~4kg/10a	6~8kg/10a

### ○播種深度

播種の深さの目安は3cmとし、土壌の水分状態に応じて調整し、土が乾燥している場合はやや深め（5cm程度）とします。

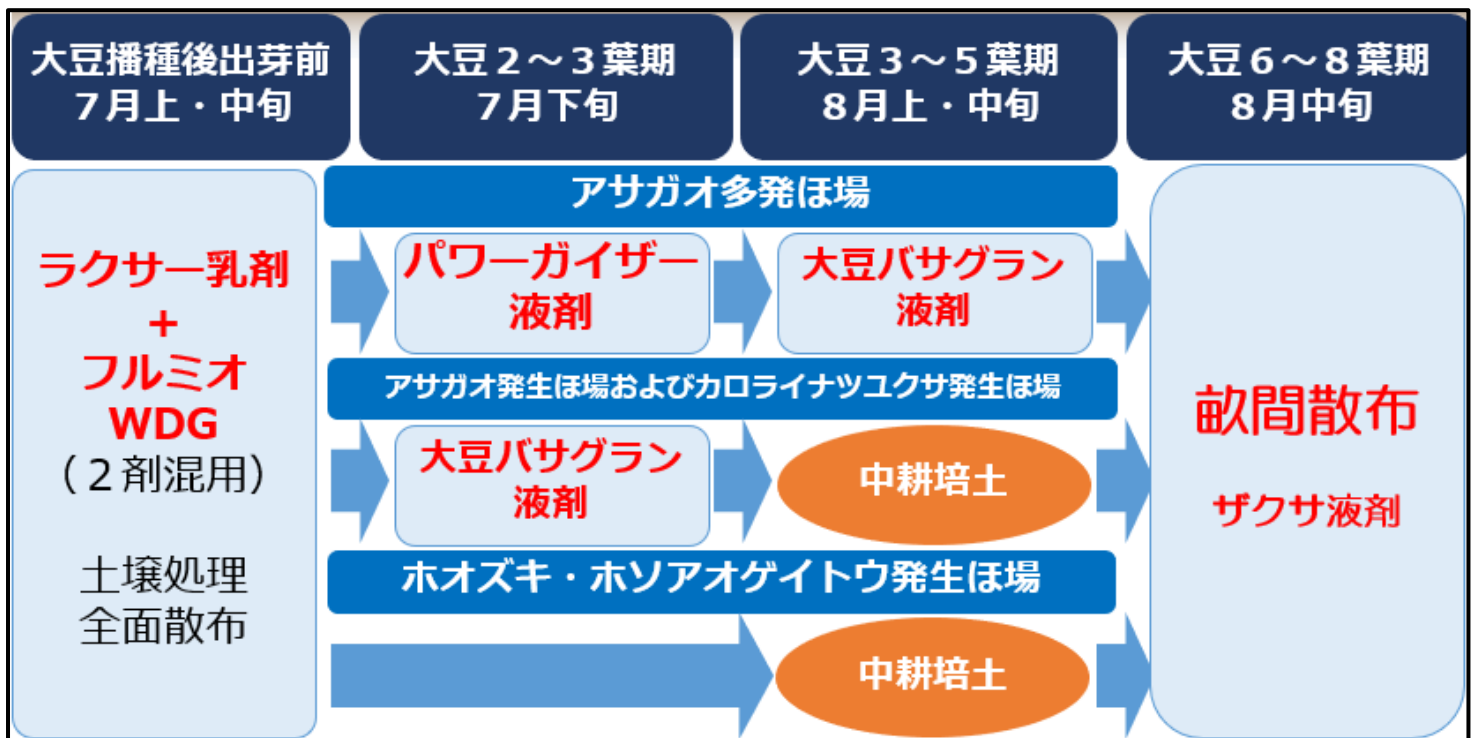
### ○乾燥対策

大豆出芽後は、ほ場内の土壌水分の維持のために、**暗渠栓を閉めましょう。**

（裏面に続く）

### 3 雑草防除

使用時期	薬剤名	使用量/10a	希釈水量/10a	備考
耕起前	ラウンドアップ マックスロード	200~500mL	50~100L	100倍液が効果高い
			少量散布 25~50L	少量散布用ノズルを使用 強風時ドリフト注意
	ザクサ液剤	300~500mL	100~150L	ツククサ多発ほ場
プリグロックスL	600~1000mL			
播種後 ~出芽前まで	ラクサー粒剤	4~8kg	—	
	ラクサー乳剤	400~800mL	100L	<b>フルミオWDG</b> アサガオ・ホオズキ類多 発ほ場では、5~ 10g/10aを追加散布し 、使用後は専用洗浄剤で 十分洗浄
出芽直前~ 大豆3葉期まで	パワーガイザー液剤	200~300mL	100L	広葉雑草対策
大豆2葉期~開 花前	大豆バサグラン液剤	100~150mL	100L	アサガオ2~3葉期、ツ ククサ3葉期まで
イネ科雑草 3~10葉期	ポルトフロアブル	200~300mL	100L	イネ科雑草対策 スズメノカタビラ除く
生育中	ザクサ液剤	300~500mL	100~150L	アサガオ・ツククサ対策 <b>畝間散布</b>



**【農薬使用上の注意】** ①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！ ②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！ ③散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！ ④防除履歴の正確な記帳！